

あけましておめでとうござ  
います。  
今年が町民の皆様にとって  
輝かしい年になりますよう心  
からお祈り申し上げます。ま  
た、町民の皆様にはさまざま  
なご支援とご協力をいただき  
、深くお礼を申し上げます。  
昨年を振り返りますと、宮  
崎県内で発生しました口蹄疫  
の影響により県内でも畜産市  
場が閉鎖され、畜産業界が大  
きな被害を受けたことは記憶  
に新しいものかと思われま  
す。また日本の農業における  
TPP（環太平洋戦略的経済  
連携協定）の課題とともに、  
世界同時経済不況から、なか  
なか景気回復の兆しが見え  
ず、町企業や町民生活は先行  
きの見えない不安定な年で、  
町の税収につきましては大幅  
な減収となり、財政運営も引  
き続き厳しい状況を強いられ  
ています。  
九州新幹線の全線開業が今  
年3月に迫りました。熊本県  
は、関西大阪まで3時間以内  
の戦略を計画されています。  
発着点となる福岡、鹿児島両  
県と比べ、中間地点となる熊  
本では企業活動へマイナスと  
予測する企業の割合が高いこ  
とが調査で分かっています  
が、本町としましては、阿蘇  
くまもと空港と九州新幹線へ  
の接続ポイントとして肥後大  
津駅の機能強化を図り、海外  
からの観光に取り組み、また  
町外のお客様を迎えるため、  
将来のまちづくりを見据えた  
駅周辺の整備計画のビジョン  
に基づき、駅前広場や駅南口  
の整備を行います。  
少子・高齢化が進むなかで  
はありますが、大津小学校区  
の児童数は増加傾向にあり、  
近いうちには文部科学省が示  
す31学級を越える過大規模校  
となるうとしています。大津  
町教育委員会では、これまで  
子どもたちの良好な教育環境  
整備を目的に、さまざまな検  
討を行った結果、分離校を平  
成25年4月に開校する予定で  
す。また、高齢者の生きがい  
づくりなどの対応に努め「人  
と地域 共にささえあうまち  
づくり」を推進します。  
平成22年度は、第5次大津  
町振興総合計画の中期計画に  
あたる「基本計画」の見直し  
を行い、平成23年度から平成  
27年度までの「後期基本計画」  
の策定を進めています。この  
計画は大津町がこれから5

予想される中で、さまざまな  
行政課題への対応も求められ  
ています。限られた行政資源  
を有効に活用しながら、町民  
の皆様の満足度が向上するこ  
とを目指して、行財政改革の  
取り組みに努めていきます。  
明るい話題としては、大津  
町では人口が緩やかではござ  
いますが、年々増加傾向に  
あります。昨年一年間で約  
500人の増、世帯数では約  
300世帯の増加となっており、  
これは児童数の増加にも  
繋がっています。特に児童数  
増に伴い、大津小学校分離校  
が美咲野に平成25年4月開校  
予定で、現在、着々と準備が  
進められております。特に「日  
本一子育てしやすい町」とし  
て各種子育て支援策を実施し  
て、子どもが増えているとい  
う喜ばしい出来事がありま  
す。大津町の大切な財産であ  
る「子ども」たちが元気で健  
やかに育てられる環境づくり  
と、併せて住民の皆様が安心  
と安らぎのある地域社会であ  
るよう検証します。  
議会では、本会議や委員会  
での議論をより分かりやすく  
お伝えするため議会広報「議  
会たより」を定例会ごとに発

行しています。より親しみ  
やすく、読みやすい紙面づ  
くりを努めています。昨年、  
県町村議会広報コンクール  
で入賞し、内容や読みやす  
さといった評価をいただき  
ました。  
今後もし引き続き本会議の  
傍聴制度や役場庁舎  
ロビーでのテレビ中  
継を行い、透明性の  
高い議論の展開を目  
指しますので、今後とも  
よろしく申し上げます。  
最後になりましたが、町  
民の皆様のご健勝、ご多幸  
を心よりご祈念申し上げま  
して、新年のごあいさつと  
いたします。

大津町議会議長 大田黒英生  
町議会議員  
金田 俊二 坂本 典光  
府内 隆博 石原 大成  
吉永 弘則 手嶋 靖隆  
源川 貞夫 永田 和彦  
鈴木ムツヨ 松永 幸久  
大塚龍一郎 宇野 光廣  
新開 則明 荒木 俊彦  
月尾純一朗

# 大津の 宝は やっぱり 子ども

年間に取り組もうとする政  
策をお示しするものであり  
ます。これからのまちづく  
りでは、地域社会の問題に  
ついて、町民や企業をはじめ  
めとした地域の構成員が自  
らその問題の所在を認識し、  
自律的かつその他の主体と  
の協働を図りながら、地域  
問題の解決や地域としての  
価値を創造していくための  
地域力を高めなければなり  
ません。そこで、「まちづく  
り基本条例」に基  
づき、後期基本  
計画では、行  
政の運営目標を  
示すだけでなく、  
町民と共通のまち  
づくりの目標として誰にで  
も分かりやすく、その達成  
度が評価できる「町民の視  
線」に立った計画づくりを  
目指します。  
今後、財政的にもますます  
厳しくなることが予想さ  
れますが、町議会そして町  
民の皆様とともに乗り越え  
「人と自然にやさしい、心か  
よいあうまち」づくりのた  
めに、わたし自らが先頭に  
立ち、職員と共に一丸となっ  
て全力を尽くしてまいりま

す。今年も引き続き、町民の  
皆様のご理解とご協力をお願  
い申し上げます。

大津町長 家人 勲  
副町長 上田 英典  
教育長 那須 雪子

